

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和4年度 4月号

29名の新一年生を迎え、196名の子どもたちで御前崎小令和4年度が始まりました。
今年も子どもたちには「新学期の魔法」が効いています。

しまった！チャイムがならない！でも大丈夫。たのもしい6年生。



今週は、一年生の下校に職員が付き添います。2～6年生は通常日課のため、空いている職員は総動員。残っているのは私一人でした。そんな中、不具合で掃除時刻になってもチャイムがなりません。そんな中、「あれ？チャイムがならない。直らない。もう掃除時間なのに、どうしよう。」と思った矢先、子どもの声で掃除を知らせる放送が入りました。放送委員の6年生です。

昨年度末の6年生を送る会に始まり、卒業式準備や片づけ、入学式の準備などを経て、あっという間に6年生の顔をしている35人。授業の集中ぶりもさすがです。立場や役割が人を成長させると言われますが、6年生の姿からそれを実感しています。

2クラスになり、広々した教室で学ぶようになった5年生は、初めての委員会やカメ当番を張り切って行っています。

4年生は「聴ける」姿や他者意識の育ちがまぶしいです。

初めての2階、初めての教科など、3年生も元気いっぱい、明るく過ごさせています。

2年生は1年生のお手本生活をはりきってくれています。

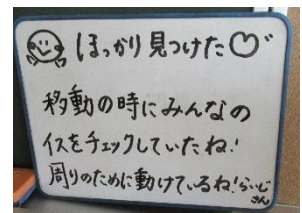
(これはないしょですが)とはいえ、本音ではお兄さん・お姉さんに遊んでほしいお年頃。1年生が早く下校した昼休み。6年生の手を握りしめ、遊んでもらっている数名の2年生を発見。ほほえましくて笑ってしまいました。付き合ってくれる6年生の優しさもさることながら、1年生が昼休みを過ごすようになれば、とたんにお世話焼きの2年生になるのでしょうか。

温かいボイスシャワーでほっかいっぱいパワーを引き出します。

この言葉は、職員の名札に書かれているものです。昨年度末、令和4年度の御前崎小職員の努力目標を話し合って決めました。

帰りの会で伝える、おたよりで伝える、おはよう黒板で伝えるなど、方法はさまざまですが、すべての職員で取り組みを始めたところです。

この努力目標は、御前崎中学校区全体の取組でもあります。



5年1組ほっかいっぱい



おかげさまでくすくす

令和4年度の御前崎小も、ほっかいっぱいな学校をめざします。また、昨年度以上に子どもたちが学校づくりに参画できる機会を増やしていきたいと考えています。

今年度も、保護者のみなさま、地域のみなさまの応援をよろしくお願いいたします。

(3年生から「来年も校長先生を担当して」というお手紙をもらった校長 仁平美和子)

